

自然ふれあいウォーク 秋の県立いせはら塔の山緑地公園を 歩いてきました。

9月30日(土) 9:15~14:00 曇り 26℃

7月まで散策路は歩くことができなかったため、暫くぶりの観察会となりました。安全が最優先のため、散策路の両側は草刈りがされ、安心して歩くことができました。が、一番楽しみにしていたキントキヒゴタイは残念ながら見当たりませんでした。

1 塔の山公園のキントキヒゴタイ (キク科トウヒレン属)

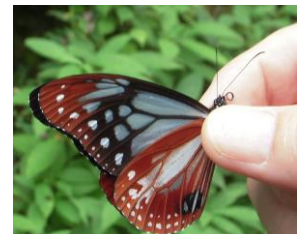


2016. 9. 26 (昨年) 園内のキントキヒゴタイ
総苞は鐘型で総苞片は反り返ります。下部の葉はタカオヒゴタイの
ようにバイオリン型にはくびれない。市内では非常に珍しいです。

2017. 10. 2 箱根芦ノ湖
西岸のキントキヒゴタイ

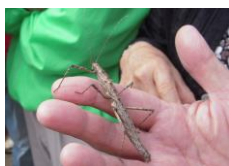
2 ヒヨドリバナとアサギマダラ (チョウ) の関係。

アサギマダラは海を渡って日本列島を北上するチョウとして良く知られていますが、寿命は4~5ヶ月位だそう。
ヒヨドリバナやフジバカマの花で吸蜜するのは、オスの性フェロモン分泌に必要な成分が含まれているからです。



3 見かけたチョウ4種 曇っていたので少なかった。 (ヒメジャノメ・クロアゲハ・ウラギンシジミ・ヤマトシジミ)

4 今回は地元比々多観光振興会の方々が多数参加され自然豊かな塔の山緑地公園の魅力を再発見されていました。



トゲナナフシ 七節の
七は沢山という意味



ムクロジの話 (ムクロジ科落葉高木)

堅い種子は羽根つきの玉に用いられるが無患子と書くことから子どもの無病(健康)の願いが込められているそうです。

5 昼食後は園内の木の実や木の枝を使ったクラフト

参加人数 22名 + GI: 12名 +
パークセンター長 合計35名

